

きみかめ便り

～千葉県立君津亀山少年自然の家 所報～

4月号

平成 27 年度が始まりました。今年度も皆さまに愛される施設を目指して、職員一同邁進してまいります。たくさんの皆様のご利用を心よりお待ちしております。

私ごとですが、先日子どもと幼稚園の親子遠足に行ってきました。途中で楽しみのお弁当を食べ、さらにお楽しみのおやつタイムでの出来事…。自分の子どもが他の子に積極的にお菓子をあげている(交換している)姿を見て、びっくりしました。「遠足モード」だからと言ってしまえばそれまでですが、普段兄弟とお菓子のとりあいでもケンカをしている姿を見ていたので、ギャップが大きすぎて戸惑いました。

子どもには子どもの世界がある。普段家庭の姿しか見ていないと子どもの世界での一面を見て驚くことがあります。子ども達の持っている意外な一面、そこを引き出すには子ども達の集団での体験が一番有効だと感じました。



親子遠足

所長 庄司 達哉

ある日のきみかめ ～主催事業報告～

2015年3月7日～8日

森っこレンジャー 『レンジャーキャンプ』

(参加者32名 ボランティア4名)



こんな形の木を見つけました



慣れない十太で薪割りもしました

きみかめ一の人気主催事業『森っこレンジャー』(通称“森レン”)、H26年度も一年間通じて実施しました。その総まとめとなる『レンジャーキャンプ』をこのほど1泊2日で実施しました。

『森っこレンジャー』の概要

森っこレンジャー(以下“森レン”)とは一言でいえば、「子どもと自然、子どもと子どもがつながる場」です。きみかめのフィールドは、四季折々の姿を私たちに見せてくれます。春には桜や椿、夏は昆虫たちが活発に動き始めます。秋は、きのこや山菜が満載の森に姿を変えます。冬は、凜とした寒さの中で見えるきれいな星空。この自然が持つ、美しさやたくましさ子どもたちに感じてほしい。そして、子どもたちの心が豊かに育ってほしいと願いつつ実施している事業です。

H26年度の活動内容

H26年度の森レンでは、きみかめの森を中心に様々な活動をしてきました。植物について調べたり、動物の痕跡をたどって冒険したり、自分たちで森の木を間伐したりと子どもたち自身が考えながら、自然に対する知識を学び、友だちと協力し、助け合いながら活動をしてきました。

H26年度の最終回「レンジャーキャンプ」はその集大成となるものでした。今まで経験した技術を駆使して、火起こしや薪割り、森の探検などを行いました。子ども同士の結束力が、一番感じられる回だったと思います。

この主催事業を通じて再認識したこと

夜のきみかめの森が素晴らしいことです。最終回の「レンジャーキャンプ」では「ナイトハイク」を実施したのですが、街中では体験する事が出来ない独特な森の静けさ、そして気配を消して歩いていると聞こえてくる動物たちの声。当日は、雲が多くて見る事ができませんでしたが、頭上には満点の星空も広がっていたことでしょう。来年度も多くの子どもに届けたい事業です。

(文：森っこレンジャー担当 工藤)

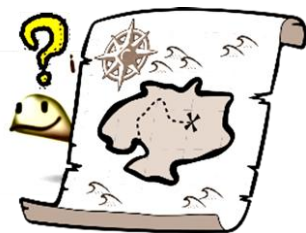
- 対象 小学生～大人向け
- 人数 15～200名
- 時間 1時間～1時間30分
- 費用 無料

(文 土地)

「ここは、君津の森の中にある自然の家。その家の中に隠された謎を解き、見事答えを導いてみよ!」
さて、こんなクエストゲームのようなプログラムから始まる!? 新しいプログラムの紹介です。班ごとに協力して館内のポイントを探る方法なので、雨天プログラムにも最適。ポイントごとにあるクエストを解いていけば、普段気がつかなかった、きみかめのまた違った一面が見えてくるかも? 探し物が大好きな子どもたちの探究心を養います。初めてのプログラムなのでアンケートなどでご意見を取り入れながら、より楽しいものにできればとも思っています。ぜひ一度お試しください!

アクティビティ PICK UP!!

新規 『きみかめクエスト』
(館内ポイントラリー)



きみかめに隠された謎が
君たちに解けるかな?

お知らせ



☆H27年度予約

4月1日時点で

県内団体様は

2016年4月30日迄

の期間、県外団体様は2015年12月29日迄の期間ご予約いただけます。

☆きみかめ号 (所バス)

送迎時間の調整の際、最優先は最寄駅(上総亀山、久留里、安房鴨川)となりますが、他駅や片道1時間程度までの送迎でもご利用いただけます。日帰り利用も同様です。

☆H27年度の情報がHPに

利用の手引き、アクティビティー事例集、主催イベント情報が、ホームページ <http://kimikame.net/> からダウンロードいただけます。

☆主催イベント Coming Soon

【予約不要のイベント】

●プラネタリウム

ライブ感あふれる「マニュアル投影」

4/12(日)、5/6(水祝) 6/7(日)

11:00-12:00 投影: スタッフ

13:30-14:30 投影: 君津天文同好会

無料 各定員150名

【要予約のイベント】

●絵本のカステラづくり 4/12(日)

●森のアスレチック 5/6(水祝)

●ナイフでおはしづくり 6/7(日)

詳細 <http://kimikame.net/>

ご予約は電話 0439-39-2628 まで

(文: 内田)

近隣フィールド紹介

☆農村体験 (田植え～稲刈り～脱穀～食育～文化)

◇鴨川市 【大山千枚田】

大山千枚田は、山間部の傾斜地を開墾・利用した棚田群です(水田375枚)。傾斜に沿って水田が広がる景観は息をのむほど美しく、先人の米作りの苦労と知恵を肌で感じることもできます。

驚くことに大山千枚田には用水がなく、日本で唯一雨水のみで耕作を続けています。また棚田は、ダムの機能も担い、棚田の保全が洪水等災害の防止や生態系・環境の保全にもつながっています。

大山千枚田保存会では、これら棚田の保存推進、都市農村交流のための「棚田のオーナー制」を数々多彩な事業を展開しています。更に単発でも学校等の体験も受け入れています(H27年度田植え・稲刈りの受付は終了、H28年度に向けて相談できます。)

きみかめに宿泊する中学校も出かけています。



【日本の棚田百選】
大山千枚田
東京から一番近い棚田
(所から23.4km 車で35分)

問い合わせ先: NPO法人 大山千枚田保存会/ 棚田倶楽部
鴨川市平塚540 TEL04-7099-9050/ FAX04-7099-9051

◇大多喜町【粟又・小沢又・面白・小田代】

養老川が深い谷を流れるため、川から水を汲み上げることが困難で、雨水に頼るも雨の少ない時には困窮していた土地に、明治11年「中村伝治」によってもたらされた「品の川用水路」を利用してお米を作っています。地形の高低差を考慮して、会所高原(清澄山の麓)から水を引いています。水路トンネルは全長約6km。取水口や水路も見られます。

また、昔ながらの農法「レンゲ農法」(田んぼでレンゲを栽培し肥料・除草に活用)や「有機農法」も残っています。隣の写真は、地元の保育園児が農業体験をしている様子です。一年を通じて、レンゲの種まきから脱穀、新米のおにぎり作りまでしました。

H27年は、ベトナム、インドネシア人留学生と「田植え」を通じた異文化交流会も予定しています。

一度に100名程度迄の里山体験が相談できます。



小田代の田んぼで
(所から16km車で25分)

(文: 内田)

問い合わせ先: NPO法人 大多喜みらい塾

大多喜町大多喜486番地10 (大多喜町中央公民館内) TEL/FAX 0470-62-6989

スタッフリレー紹介

～きみかめスタッフが他のスタッフを紹介するコーナーです～

今月の人



庄司 達哉(しゅれつく)

◎今月紹介するスタッフ

は、庄司達哉(しゅれつく)さんです。うじたつや(さん)です。ニククネームは「しゅれつく」。言わずと知れたきみかめの所長です。

庄司所長は一見温和そうに見えますが(もちろんその通りなのですが)、実は情熱的な一面も持っています。

とくに生物や自然に関する知識は幅広く、「災害に備える活動」や「環境教育ゲーム」など自然環境を舞台としたアクティビティの指導をしている姿はとてもし生々しく輝いて見えます。

自然の中で生きる大切さとおもしろさを他の人に伝えることのできる技術や情熱を持っている所長はとてもちか



紹介した人
音田 千咲

庄司さんがきみかめの所長で良かったなあとの心の中を誇らしく思っています。きみかめに来たらぜひ自然環境を題材としたアクティビティを体験してみてください。もしかすると庄司所長の輝く姿が見られるかもしれません。

千葉県立君津島山少年自然の家

所報 第68号 2015年4月

292-0526 君津市笹字片倉1661-1

TEL: 0439-39-2628

FAX: 0439-39-2609

E-mail: info@kimikame.net

HP: <http://www.kimikame.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/kimikamesizen>

Twitter: @kimikamesizen

「きみかめ」は千葉県自然学校グループが
県指定管理者として運営しています。

バックナンバーも
ご覧いただけます!

